

斜面工学研究小委員会第6回委員会議事録

日時：平成31年1月31日（金）14:00～17:30

場所：土木学会 F 会議室

出席者（敬称略，順不同）：中野、美馬、伊藤、藤井、樋口、岩佐、橋口、石田、北爪、上野、ハスパートル、片山、吉川、鈴木

報告事項

1. 前回議事録の確認

鈴木委員長より、第5回委員会議事録の報告がなされた。

2. 中越地震現地調査

岩佐委員、中野委員、吉川委員より、H30.11.7に実施した「中越地震14年後調査」について報告がなされた。来年度も引き続き検討していく。

各委員より、以下の意見があった。

- ・現在、被災地の災害モニュメントが少なく、当時の記録をもっと残した方が良い。
- ・防災学習マップをもっと活用し、災害記録を残す活動をしてはどうか。
- ・地すべり学会で被災地を回るツアーを実施したことがあり、その様な企画はどうか。

3. インフラテック 2018

藤井副委員長より、インフラテック 2018（東京ビックサイト、2018/12/6～8）の参加報告がなされた。斜面崩壊、地すべり、土のう、トンネルの模型を用いて説明を行った。土木学会ブースには310人の来訪者があった。

各委員より、以下の意見があった。

- ・被災地で開催してはどうか。

4. その他

鈴木委員長より、土木広報大賞で藤井副委員長が「ドボク模型により土木をわかりやすく伝える広報活動」として表彰されたことについて報告がなされた。

審議事項

1. 委員会幹事について

鈴木委員長より、委員会活動（西日本豪雨災害、九州北部豪雨災害、図書出版など）が増えてきたこともあり、北爪委員を幹事とする提案があった。

審議の結果、北爪委員を幹事にすることとなった。

2. H30 重点研究課題（九州北部豪雨関連）

吉川副委員長より、H30 年度重点研究課題の進捗状況、予算状況等について説明がなされた。

審議の結果、以下を行う。

- ・ 2 章（降雨）のメンバーに藤井副委員長、樋口委員を加える。
- ・ 3 章（地形・地質）のメンバーにハスパートル委員を加える。
- ・ 報告書作成補助として、山口大学の鈴木研究室秘書の宮本さやか様にお手伝い頂く。
- ・ 各パートのリーダーは、各章の概要を配信し、情報共有を図る。
- ・ 各パートの報告書は、宮本様、CC で鈴木委員長、吉川副委員長に送付する。
- ・ 報告書の製本は、150 頁、400 部を予定する。関係機関に配布する予定。
- ・ 報告書は、委員会の HP で公開する予定。
- ・ 討論会は、5 月下旬に地盤工学会関東支部と共催で行う予定。

3. JGS 西日本豪雨災害対応について

鈴木委員長より、西日本豪雨災害の対応状況について報告がなされた。

2009 年の会長特別委員会の提言、今回の提言チェックリスト、提言フォーマットの説明があった。本委員会の取りまとめ方法に関して協議を

各委員より、以下の意見があった。

- ・ 2009 年の学会提言について、対応出来ていること出来ていないことを確認してはどうか。
- ・ 基本的、具体的、実現可能、検証可能な形で絞った提言をしていくことでどうか。

審議の結果、以下を行う。

- ・ 引き続き、取りまとめ方法について意見を出し合っていく。

4. 「実験で学ぶ 土砂災害」の販売促進

藤井副委員長より、図書の販売促進について報告がなされた。売上部数は 1749 部であり、前回から 64 部増加した。

審議の結果、引き続き、販売促進を行う。

5. 行事企画・事業

（1）出版企画

鈴木委員長より、引き続き企画していく旨の話がなされた。

話題提供

日本大学・佐藤浩先生（元国土地理院）より、「リモートセンシング技術の動向」についてご発表を頂いた。

次回委員会

4 月 1 ～ 2 週で調整する。

以上